

2026年(令和8年)上期 景気動向調査結果

～景況感は前期(2025年7月1日～12月31日)から一転して大幅に悪化
「仕入・原材料価格の上昇」「人件費の増加」が経営を圧迫～

- 目 的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2026年1月1日から2026年6月30日(2026年(令和8年)上期)まで
- 調査実施期間 : 2026年7月10日から2026年7月31日まで
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・副部会長・女性会・青年部・振興委員等 550 事業所
- 回答数 : 回収数 132 (回収率 24.0%)

業種		従業員数	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	合計
製造業			3	11	6	3	15	38
非製造業	建設業		2	3	2	1	1	9
	小売業		10	6	2	1	1	20
	卸売業		7	3	4	2	1	17
	サービス業		14	8	7	1	4	34
	その他業		1	2	3	1	7	14
合 計			37	33	24	9	29	132

● 概 要

【業況】

- ・製造業では、「仕入・原材料価格の上昇」や「需要の停滞」「中東情勢の影響」などにより、前期から大幅に悪化し、マイナスに転じた。
- ・非製造業でも、「仕入・原材料価格の上昇」「需要の停滞」などを背景に前期から大幅に悪化。業種別では卸売業のみ改善となった。

【売上】

- ・製造業では、「需要の停滞」などを背景に前期から大幅に悪化し、マイナスに転じた。
- ・非製造業でも、前期から大幅に悪化し、全体ではマイナスに転じた。業種別では卸売業が唯一前期比で改善し、プラスを維持した。

【採算】

- ・製造業では、「仕入・原材料単価の上昇」などによるコスト負担を背景に前期から大幅に悪化し、マイナスに転じた。
- ・非製造業でも、全体として前期から大幅に悪化し、マイナスに転じた。業種別では、卸売業のみ前期比で改善したもののマイナス域にとどまった。

【仕入単価】

- ・製造業では、全事業者が仕入単価の「上昇」または「やや上昇」と回答しており、価格上昇が極めて顕著となった。
- ・非製造業でも、仕入単価は上昇傾向にあり、製造業、非製造業ともに来期も厳しい状況が続く見通し。

【直面している課題】

- ・製造業では、「仕入・原材料単価の上昇」が最も大きな課題となっており、人材確保や需要の停滞、人件費の増加なども課題となっている。
- ・非製造業では、「仕入・原材料単価の上昇」に加え、「人件費の増加(最低賃金の上昇)」「従業員・熟練技術者の確保難」など、人材・コスト面の課題が目立つ。

皆様から寄せられた企業、業界の取組(抜粋)

●製造業

- ・DXの推進
- ・新規事業への参入
- ・海外への販路開拓
- ・新商品開発
- ・従業員教育による技術力向上
- ・積極的な営業活動

●非製造業

- ・DXの推進
- ・SNS活用の推進
- ・人材の確保・育成
- ・新商品開発
- ・福利厚生充実
- ・賃上げ、働き方改革、組織改編

※「DI値」とは

デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

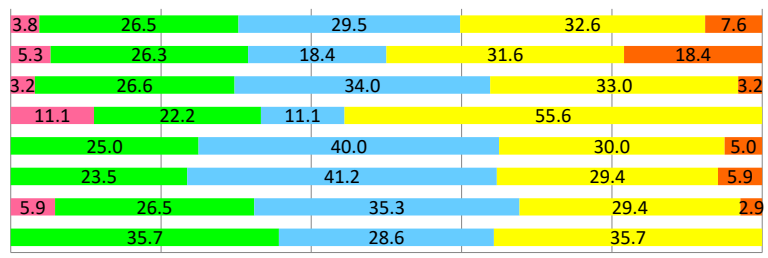
【業況DI値】

今期(2026年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲9.9 前期比 ▲20.9)
製造業	(今期 ▲18.4 前期比 ▲26.5)
非製造業	(今期 ▲6.4 前期比 ▲18.7)
建設業	(今期 ▲22.3 前期比 ▲35.6)
小売業	(今期 ▲10.0 前期比 ▲15.9)
卸売業	(今期 ▲11.8 前期比 3.6)
サービス業	(今期 0.1 前期比 ▲24.9)
その他業	(今期 0.0 前期比 0.0)

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2026年1月～6月)の状況

業況DI値は、製造業で▲18.4(前期比▲26.5)、非製造業で▲6.4(同▲18.7)、全業種で▲9.9(同▲20.9)となった。製造業、非製造業ともに前期から大幅に悪化し、マイナスとなった。

製造業では、「仕入・原材料価格の上昇」や「需要の停滞」「中東情勢の影響」など、厳しい経営環境が続いている。一方、非製造業では、卸売業のみが「駆け込み需要」などを背景に、前期比+3.6と改善したものの、今期は▲11.8とマイナス域にとどまった。

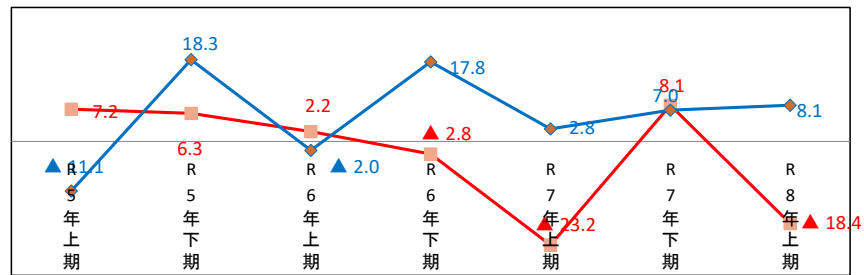
※前期比とは、前回調査(令和7年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 今期のDI値

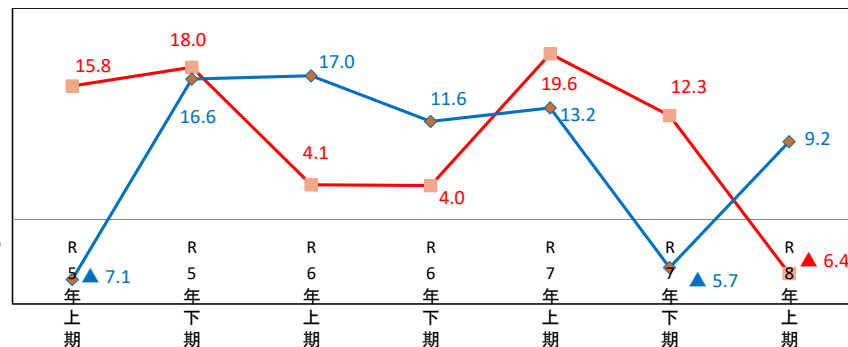
◆ 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

■ 今期のDI値

◆ 前期調査時点での
今期見通し

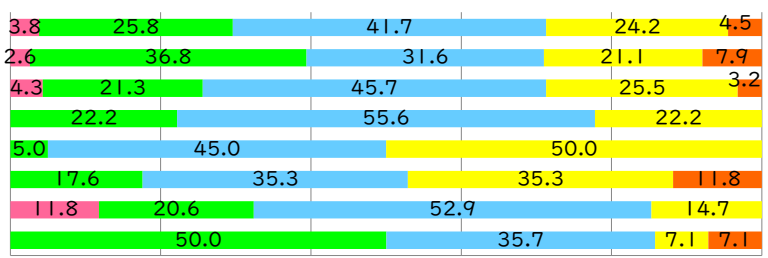


来期(2026年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 0.9 今期比 10.8)
製造業	(見通し 10.4 今期比 28.8)
非製造業	(見通し ▲3.1 今期比 3.3)
建設業	(見通し 0.0 今期比 22.3)
小売業	(見通し ▲45.0 今期比 ▲35.0)
卸売業	(見通し ▲29.5 今期比 ▲17.7)
サービス業	(見通し 17.7 今期比 17.6)
その他業	(見通し 35.8 今期比 35.8)

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2026年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では28.8ポイント改善の10.4、非製造業では3.3ポイント改善の▲3.1、全業種で10.8ポイント改善の0.9と見通している。非製造業では小売業や卸売業が悪化となったものの、製造業では今期比でプラスとなり、その要因として「ナフサショックの終了」や「物価高慣れによる新規流通の開拓」が挙げられた。非製造業では、「受注件数の増加」、「設備投資」などが改善要因として挙げられた。

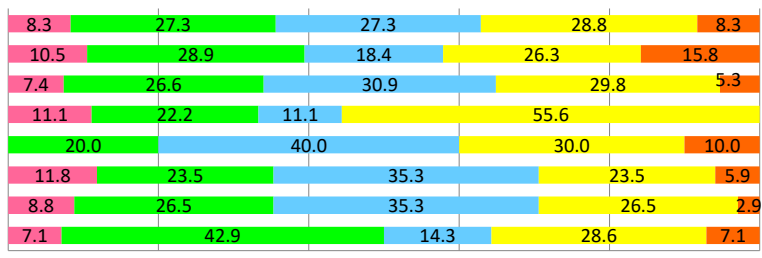
【売上DI値】

今期(2026年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲1.5)	前期比 ▲18.6)
製造業	(今期 ▲2.7)	前期比 ▲16.2)
非製造業	(今期 ▲1.1)	前期比 ▲19.5)
建設業	(今期 ▲22.3)	前期比 ▲28.9)
小売業	(今期 ▲20.0)	前期比 ▲2.3)
卸売業	(今期 5.9)	前期比 36.7)
サービス業	(今期 5.9)	前期比 ▲41.9)
その他業	(今期 14.3)	前期比 ▲18.7)

(売上)

(単位:%)



■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2026年1月～6月)の状況

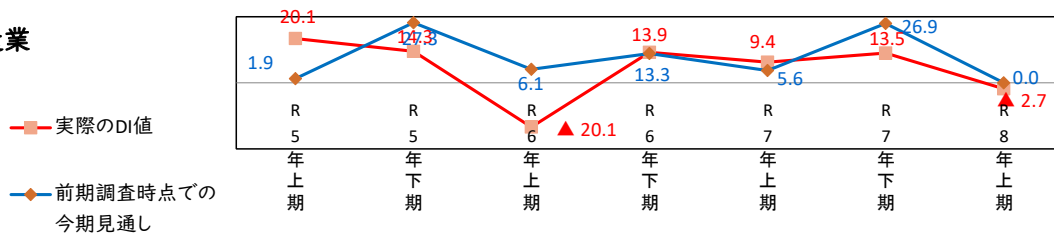
売上DI値は、製造業で▲2.7(前期比▲16.2)、非製造業で▲1.1(同▲19.5)、全業種で▲1.5(同▲18.6)となり、製造業、非製造業ともに前期から悪化し、マイナスとなった。

製造業では、「受注量の減少」「万博需要の消滅」などにより、売上が悪化傾向となった。一方、非製造業では、小売業、建設業でマイナスとなったものの、卸売業では「価格転嫁」や「駆け込み需要」などを背景に、今期+5.9、前期比+36.7ポイントと大幅に改善し、プラスに転じた。また、サービス業、その他業でも今期はプラスを維持している。

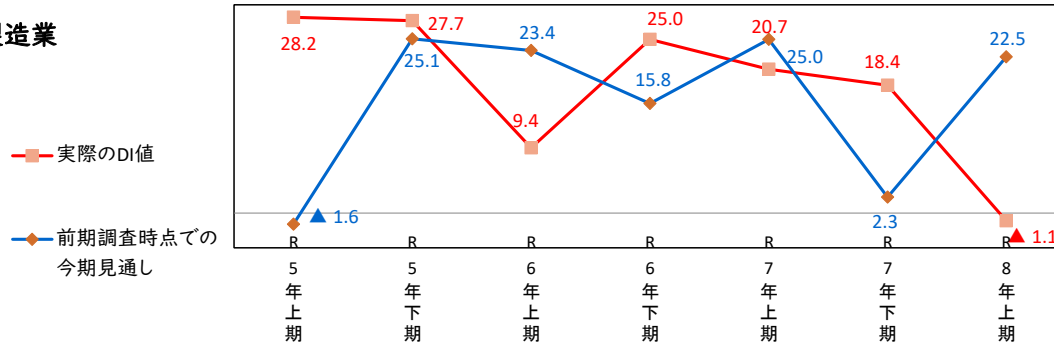
※前期比とは、前回調査(令和7年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業



非製造業

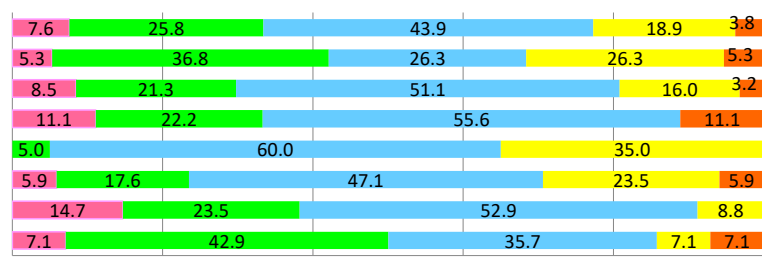


来期(2026年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 10.7)	今期比 12.2)
製造業	(見通し 10.5)	今期比 13.2)
非製造業	(見通し 10.6)	今期比 11.7)
建設業	(見通し 22.2)	今期比 44.5)
小売業	(見通し ▲30.0)	今期比 ▲10.0)
卸売業	(見通し ▲5.9)	今期比 ▲11.8)
サービス業	(見通し 29.4)	今期比 23.5)
その他業	(見通し 35.8)	今期比 21.5)

(売上)

(単位:%)



■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(2026年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で13.2ポイント改善の10.5、非製造業で11.7ポイント改善の10.6、全業種で12.2ポイント改善の10.7と見通している。

非製造業のうち、小売業、卸売業では「中東情勢の悪化による価格高騰」などにより悪化傾向の見通しが示されているが、全体として「価格転嫁による販売単価の上昇」「受注の回復」など、売上は回復傾向で推移する見通しとなった。

【採算DI値】

今期(2026年1月～6月)のDI値

(採算)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(2026年1月～6月)の状況

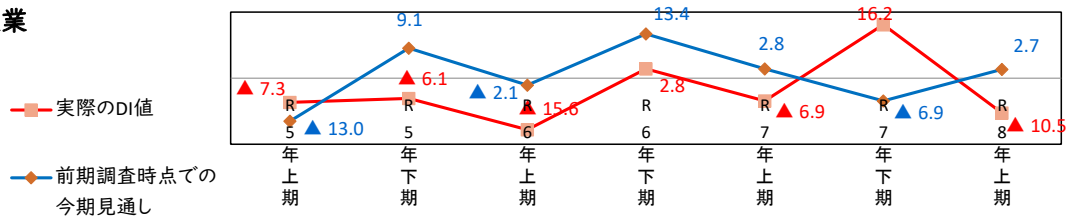
採算DI値は、製造業で▲10.5(前期比▲26.7)、非製造業で▲10.6(同▲18.9)、全業種で▲10.5(同▲20.9)となり、製造業、非製造業ともに前期から大幅に悪化し、マイナスとなった。

製造業では、「仕入・原材料価格の上昇」や「人件費の増加」などによるコスト負担が採算を圧迫している。非製造業でも、仕入・原材料価格や人件費の上昇など厳しい収益環境が続いている。業種別では、卸売業のみが前期比+3.6ポイント改善したものの、今期は▲1.8とマイナス域にとどまった。

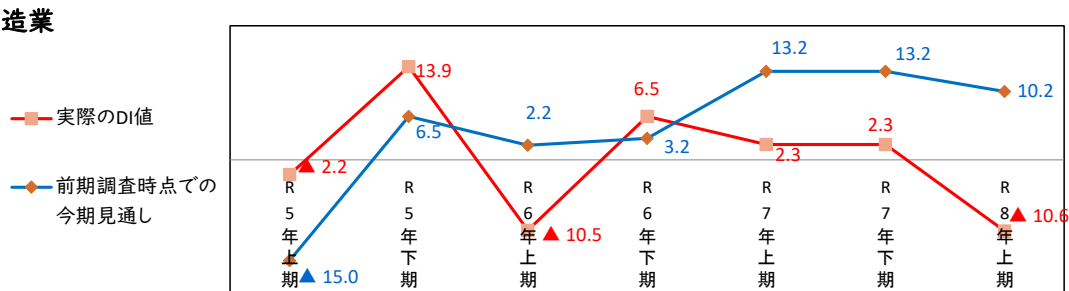
※前期比とは、前回調査(令和7年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業



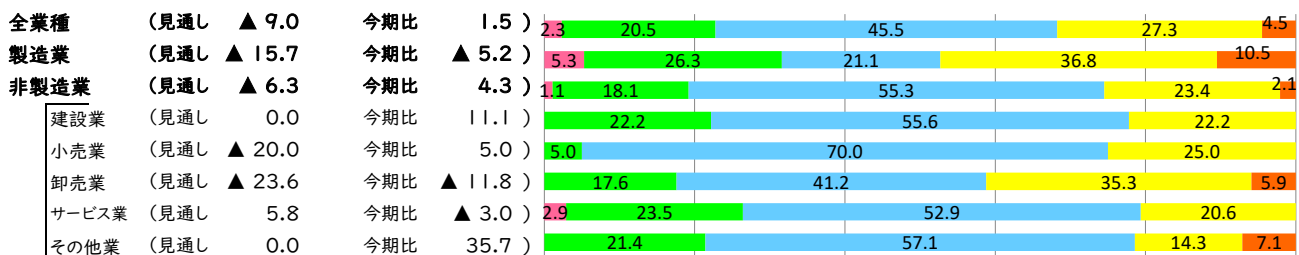
非製造業



来期(2026年7月～12月)の見通しDI値

(採算)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期と比較した来期(2026年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で5.2ポイント悪化の▲15.7、非製造業で4.3ポイント改善の▲6.3、全業種で1.5ポイント改善の▲9.0と見通している。

製造業、非製造業とも「仕入価格高騰」「人件費の増加」などが要因となり、来期も改善傾向が見られない見通しである。

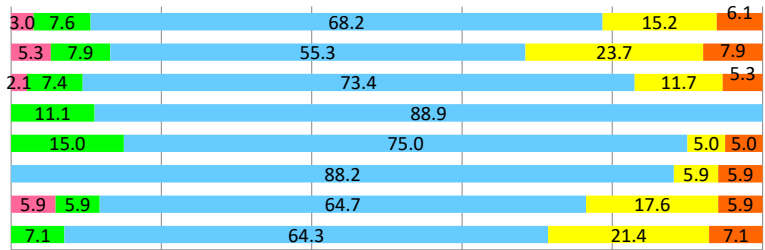
【 資金繰りDI値 】

今期(2026年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲10.7	前期比 ▲12.2)
製造業	(今期 ▲18.4	前期比 ▲13.0)
非製造業	(今期 ▲7.5	前期比 ▲11.6)
建設業	(今期 11.1	前期比 11.0)
小売業	(今期 5.0	前期比 10.9)
卸売業	(今期 ▲11.8	前期比 3.6)
サービス業	(今期 ▲11.7	前期比 ▲23.0)
その他業	(今期 ▲21.4	前期比 ▲43.4)

(資金繰り)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2026年1月～6月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で▲18.4(前期比▲13.0)、非製造業で▲7.5(同▲11.6)、全業種で▲10.7(同▲12.2)となり、製造業、非製造業ともに前期から悪化し、マイナスとなった。

非製造業では、建設業と小売業で今期、前期比ともにプラスとなったものの、製造業では今期、前期比ともにマイナスとなるなど、全体として資金繰りは厳しい状況となっている。今後の日銀の金融政策や金利動向によっては、更なる影響も懸念される。

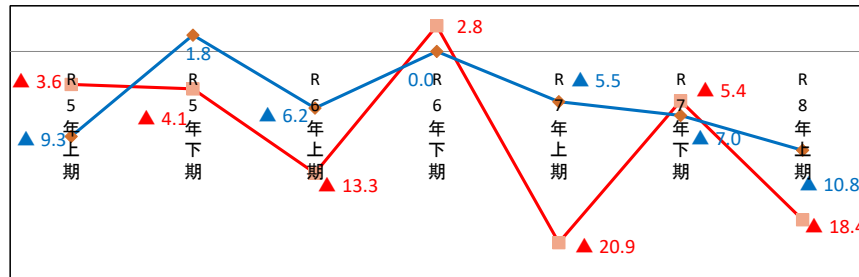
※前期比とは、前回調査(令和7年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

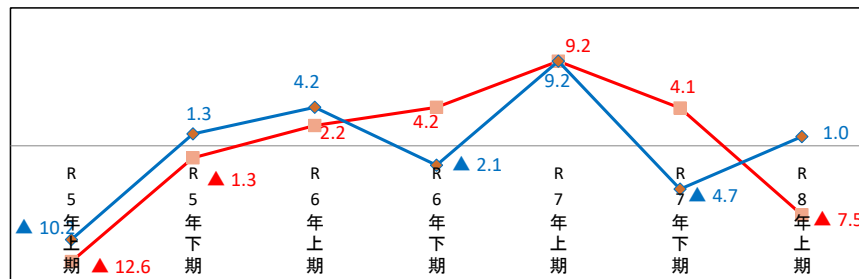
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し

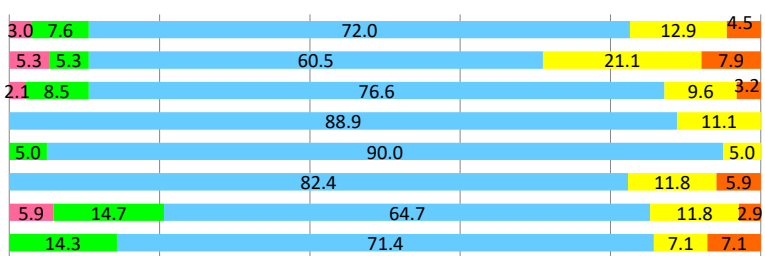


来期(2026年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲6.8	今期比 3.9)
製造業	(見通し ▲18.4	今期比 0.0)
非製造業	(見通し ▲2.2	今期比 5.3)
建設業	(見通し ▲11.1	今期比 ▲22.2)
小売業	(見通し 0.0	今期比 ▲5.0)
卸売業	(見通し ▲17.7	今期比 ▲5.9)
サービス業	(見通し 5.9	今期比 17.6)
その他業	(見通し 0.1	今期比 21.5)

(資金繰り)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2026年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲18.4、非製造業で5.3ポイント改善の▲2.2、全業種で3.9ポイント改善の▲6.8と見通している。製造業、非製造業ともに、今期比プラスとなるも来期もマイナス域(悪化、やや悪化)が続き、資金繰りは厳しい見通しとなった。

【在庫DI値】

今期(2026年1月～6月)のDI値

(在庫)

(単位:%)

全業種	(今期 ▲1.6	前期比 5.8)	1.5	11.4	75.8	9.8	1.5
製造業	(今期 ▲18.5	前期比 0.4)	5.3	21.1	65.8	7.9	
非製造業	(今期 5.3	前期比 8.4)	7.4		79.8	10.6	2.1
建設業	(今期 ▲11.1	前期比 ▲4.4)	11.1		88.9		
小売業	(今期 0.0	前期比 17.6)	10.0		80.0	10.0	
卸売業	(今期 5.9	前期比 5.9)	17.6		58.8	17.6	5.9
サービス業	(今期 8.8	前期比 4.2)	2.9		85.3	8.8	2.9
その他業	(今期 14.3	前期比 25.4)			85.7	14.3	

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2026年1月～6月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲18.5(前期比+0.4)、非製造業で+5.3(同+8.4)、全業種で▲1.6(同+5.8ポイント)となった。製造業、非製造業ともに「適正」とする回答が最も多く、全体として在庫は概ね適正な状況にある。

一方、製造業ではDI値がマイナスとなっており、一部で在庫過剰の傾向がみられる。非製造業では、卸売業、サービス業、その他業で在庫不足の傾向がみられる。

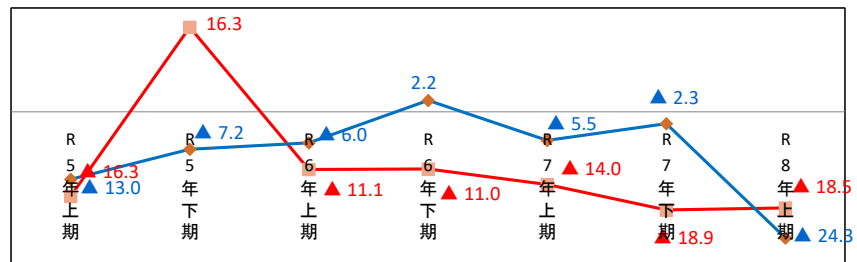
※前期比とは、前回調査(令和7年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

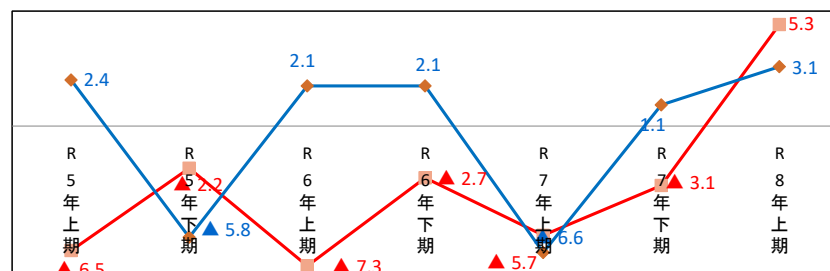
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し



来期(2026年7月～12月)の見通しDI値

(在庫)

(単位:%)

全業種	(見通し 0.0	今期比 1.6)	1.5	9.1	78.8	8.3	2.3
製造業	(見通し 0.0	今期比 18.5)	2.6	7.9	78.9	10.5	
非製造業	(見通し ▲0.1	今期比 ▲5.4)	1.1	9.6	78.7	7.4	3.2
建設業	(見通し ▲11.1	今期比 0.0)	11.1		88.9		
小売業	(見通し 10.0	今期比 10.0)	5.0		80.0	15.0	
卸売業	(見通し 17.6	今期比 11.7)	5.9	5.9	58.8	17.6	11.8
サービス業	(見通し ▲6.0	今期比 ▲14.8)	11.8		82.4	2.9	2.9
その他業	(見通し ▲14.3	今期比 ▲28.6)	14.3		85.7		

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

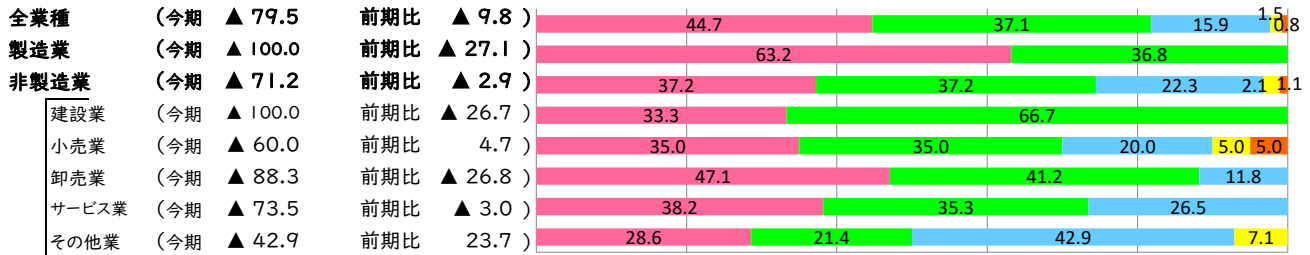
■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2026年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で18.5ポイント改善、非製造業で5.4ポイント悪化の▲0.1、全業種で1.6ポイント改善と見通している。非製造業では、小売業と卸売業において、今期比はプラス域となり、在庫不足の傾向は続く見通しとなった。

【仕入単価DI値】

今期(2026年1月～6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(2026年1月～6月)の状況

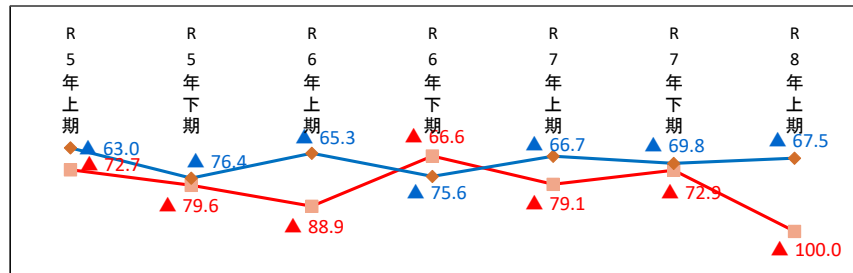
仕入単価DI値は、製造業で▲100.0(前期比▲27.1)、非製造業で▲71.2(同▲2.9)、全業種で▲79.5(同▲9.8)となり、製造業、非製造業ともに仕入単価の上昇傾向が一段と強まった。
特に製造業では、全回答事業者が仕入単価について「上昇」または「やや上昇」と回答しており、価格上昇が極めて顕著となった。非製造業でも、建設業、卸売業、その他業で前期からマイナス幅が拡大するなど、仕入価格上昇の影響が続いている。

※前期比とは、前回調査(令和7年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

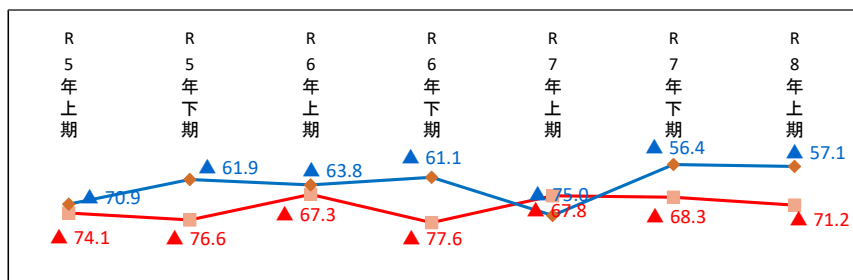
製造業

—■— 実際のDI値
—◆— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

—■— 実際のDI値
—◆— 前期調査時点での
今期見通し



来期(2026年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(2026年7月～12月)の見通し

今期と比較した仕入単価の見通しDI値は、製造業で21.1ポイント改善の▲78.9、非製造業で7.4ポイント改善の▲63.8、全業種で11.3ポイント改善の▲68.2と見通している。製造業、非製造業ともに今期比プラスとなったものの、全業種で来期の見通しは、依然大幅なマイナス域(上昇、やや上昇)で推移し、今後も利益率の圧迫など影響は続くものと考えられる。

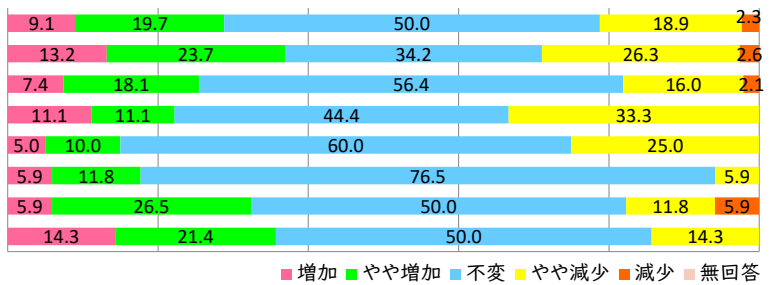
【 従業員数DI値 】

今期(2026年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 7.6 前期比 4.6)
製造業	(今期 8.0 前期比 ▲5.5)
非製造業	(今期 7.4 前期比 8.4)
建設業	(今期 ▲11.1 前期比 ▲11.1)
小売業	(今期 ▲10.0 前期比 1.7)
卸売業	(今期 11.8 前期比 ▲11.3)
サービス業	(今期 14.7 前期比 19.2)
その他業	(今期 21.4 前期比 21.4)

(従業員数)

(単位:%)



今期(2026年1月～6月)の状況

従業員数DI値は、製造業で+8.0(前期比▲5.5)、非製造業で+7.4(同▲8.4)、全業種で+7.6(同▲6.6)となった。製造業、非製造業ともに前期からは低下したものの、今期はプラスを維持し、従業員数は増加傾向となっている。

一方、「従業員・熟練技術者の確保」は製造業、非製造業ともに主要な経営課題として挙げられており、従業員数が増加傾向にある中でも、人材不足は引き続き深刻な課題となっている。

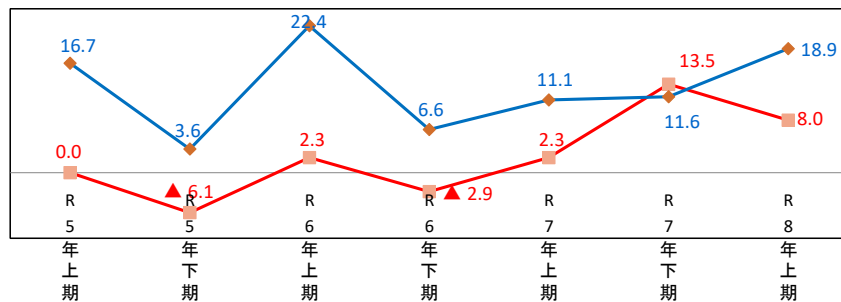
※前期比とは、前回調査(令和7年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

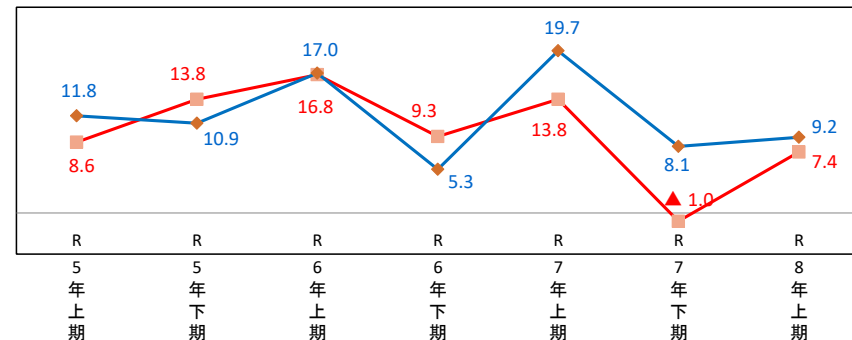
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し

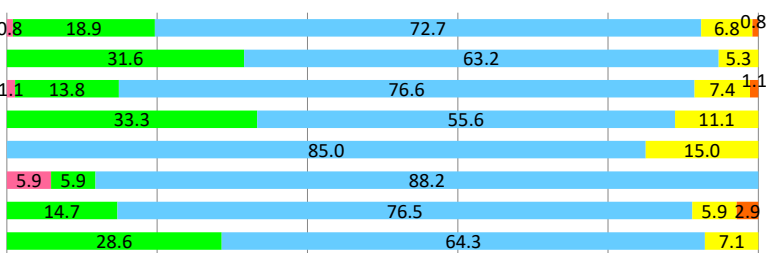


来期(2026年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 12.1 今期比 4.5)
製造業	(見通し 26.3 今期比 18.3)
非製造業	(見通し 6.4 今期比 ▲1.0)
建設業	(見通し 22.2 今期比 33.3)
小売業	(見通し ▲15.0 今期比 ▲5.0)
卸売業	(見通し 11.8 今期比 0.0)
サービス業	(見通し 5.9 今期比 ▲8.8)
その他業	(見通し 21.5 今期比 0.1)

(従業員数)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

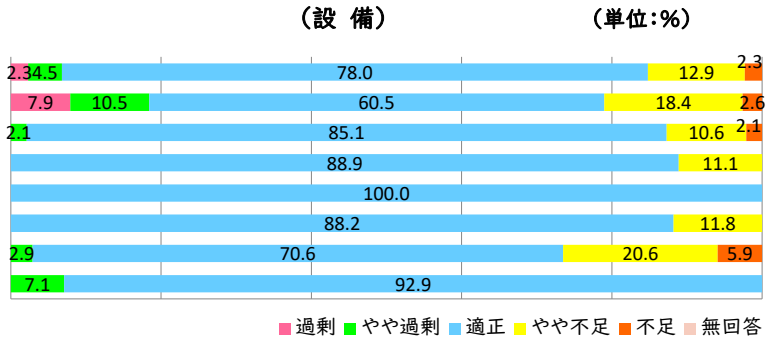
今期と比較した来期(2026年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で18.3ポイント上昇の26.3、非製造業で1.0ポイント下降の6.4、全業種では4.5ポイント上昇の12.1と見通している。製造業、非製造業ともに来期の見通しはプラスの増加傾向を示し、小売業だけがマイナスの傾向となった。従業員の過不足については、来期においても全業種で不足の見通しとなっており、全体として従業員の増加を見通しているものの「人手不足」の解消には至らず、引き続き深刻な課題と捉えられていることが伺えた。

【設備DI値】

今期(2026年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 8.4 前期比 ▲8.6)
製造業	(今期 2.6 前期比 ▲10.9)
非製造業	(今期 10.6 前期比 ▲7.8)
建設業	(今期 11.1 前期比 ▲2.2)
小売業	(今期 0.0 前期比 ▲11.8)
卸売業	(今期 11.8 前期比 ▲11.3)
サービス業	(今期 23.6 前期比 5.4)
その他業	(今期 ▲7.1 前期比 ▲40.4)



今期(2026年1月～6月)の状況

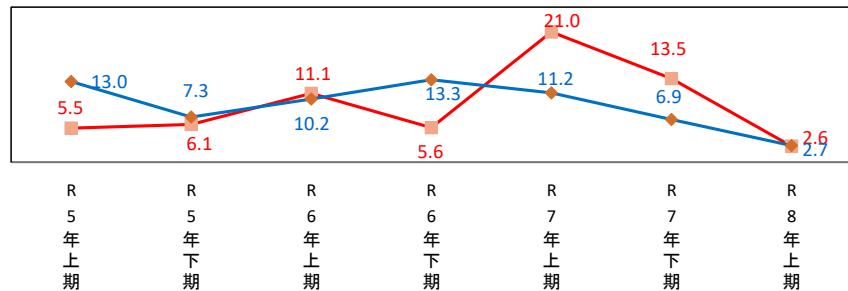
設備DI値は、製造業で+2.6(前期比▲10.9)、非製造業で+10.6(同▲7.8)、全業種で+8.4(同▲8.6)となった。製造業、非製造業ともに前期からは低下したものの、今期はプラスを維持した。
回答状況では「適正」が製造業、非製造業ともに最も多く、全体として設備は概ね適正な状況にある。一方、製造業では「生産設備の不足・老朽化」を経営課題として挙げる事業者もみられる。

※前期比とは、前回調査(令和7年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

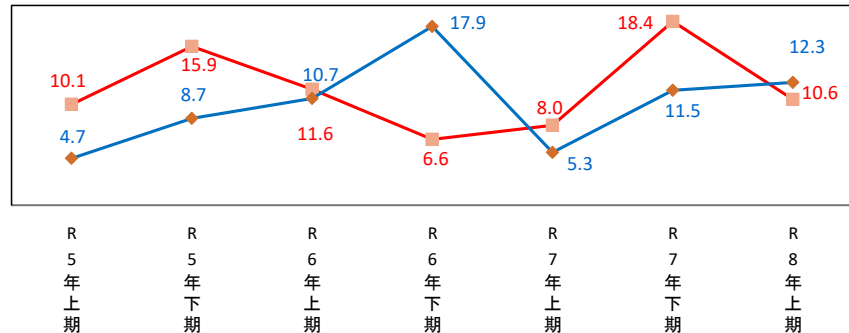
製造業

■ 実際のDI値
◆ 前期調査時点での
今期見通し



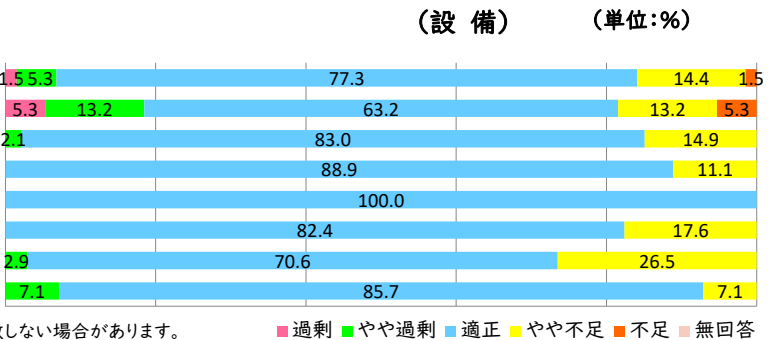
非製造業

■ 実際のDI値
◆ 前期調査時点での
今期見通し



来期(2026年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 9.1 今期比 0.7)
製造業	(見通し 0.0 今期比 ▲2.6)
非製造業	(見通し 12.8 今期比 2.2)
建設業	(見通し 11.1 今期比 0.0)
小売業	(見通し 0.0 今期比 0.0)
卸売業	(見通し 17.6 今期比 5.8)
サービス業	(見通し 23.6 今期比 0.0)
その他業	(見通し 0.0 今期比 7.1)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(2026年7月～12月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で2.6ポイント下降、非製造業で2.2ポイント上昇の12.8、全業種で0.7ポイント上昇の9.1と見通しており、来期においても、非製造業では小売業、その他業を除き、設備不足が続く見通しとなった。

【 新規設備投資 】

◆ 今期（2026年1月～6月）の新規設備投資を実施した割合

（単位：％）



◆ 来期（2026年7月～12月）の新規設備投資を計画している割合

（単位：％）



【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	5.3%	0.0%	5.0%	11.8%	5.9%	0.0%
需要の停滞	③ 23.7%	24.5%	③ 33.3%	② 30.0%	① 41.2%	5.9%	② 35.7%
為替差損	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	2.6%	3.2%	0.0%	5.0%	5.9%	0.0%	7.1%
新規参入業者の増加	2.6%	6.4%	22.2%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%
製品(消費者・利用者)ニーズの変化への対応	13.2%	6.4%	0.0%	0.0%	5.9%	2.9%	③ 28.6%
生産設備の不足・老朽化	③ 23.7%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	8.8%	0.0%
原材料の不足	10.5%	2.1%	11.1%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
仕入(原材料)単価の上昇	① 60.5%	① 36.2%	② 44.4%	① 55.0%	③ 29.4%	② 35.3%	14.3%
下請負単価の上昇	0.0%	4.3%	③ 33.3%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%
官公需要の停滞	2.6%	5.3%	0.0%	5.0%	0.0%	5.9%	14.3%
取引条件の悪化	5.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	14.3%
金利負担の増加	7.9%	8.5%	0.0%	5.0%	5.9%	11.8%	14.3%
事業資金の借入難	2.6%	5.3%	0.0%	5.0%	0.0%	8.8%	7.1%
購買力の他地域への流出	0.0%	1.1%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	2.6%	1.1%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	13.2%	10.6%	11.1%	5.0%	11.8%	8.8%	21.4%
人件費の増加(最低賃金の上昇)	③ 23.7%	② 31.9%	③ 33.3%	② 30.0%	11.8%	① 38.2%	① 42.9%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売掛金回収の悪化	2.6%	5.3%	0.0%	5.0%	0.0%	8.8%	7.1%
店舗・施設の老朽化	0.0%	1.1%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
従業員・熟練技術者の確保難	② 26.3%	③ 25.5%	① 55.6%	② 30.0%	5.9%	② 35.3%	0.0%
燃料費(電気料金含む)の高騰	13.2%	11.7%	0.0%	15.0%	5.9%	③ 14.7%	14.3%
ウクライナ情勢の影響	0.0%	5.3%	0.0%	5.0%	11.8%	5.9%	0.0%
米関税措置に関する影響	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中東情勢の影響	③ 23.7%	18.1%	22.2%	③ 20.0%	② 35.3%	5.9%	21.4%
その他	5.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	14.3%

参考資料

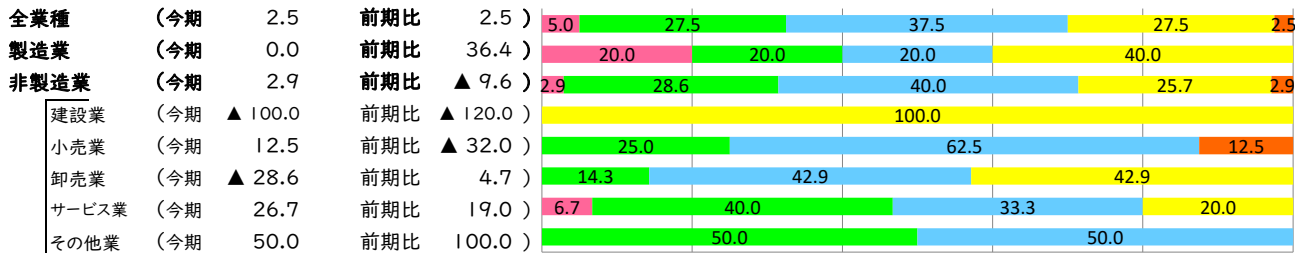
小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）
※宿泊業および娯楽業は20人以下
景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：2026年1月1日から2026年6月30日（2026年（令和8年）上期）
- 調査実施期間：2026年7月10日から2026年7月31日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模事業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 315 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：31（回答率 9.8%）

業種		従業員数	0～5人	6～20人	合計
非製造業	製造業		1	4	5
	建設業		1	2	3
	小売業		6		6
	卸売業		5		5
	サービス業		8	3	11
	その他業		1		1
合計			22	9	31

業況DI

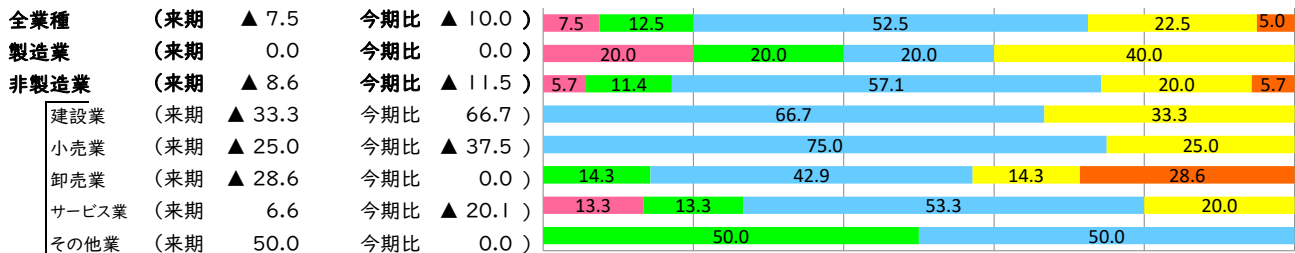
今期（2026年1月～6月）のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期（2026年7月～12月）の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

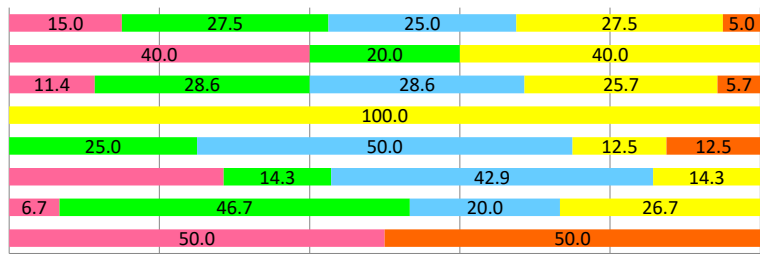
売上DI

今期(2026年1月~6月)のDI値

(売上)

(単位:%)

全業種	(今期	10.0	前期比	7.6)
製造業	(今期	20.0	前期比	47.3)
非製造業	(今期	8.6	前期比	▲3.8)
建設業	(今期	▲100.0	前期比	▲120.0)
小売業	(今期	0.0	前期比	▲22.2)
卸売業	(今期	28.6	前期比	28.6)
サービス業	(今期	26.7	前期比	11.3)
その他業	(今期	0.0	前期比	50.0)

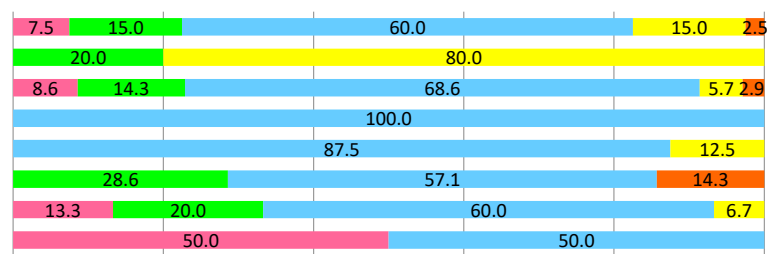


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

来期(2026年7月~12月)の見通しDI値

全業種	(来期	5.0	今期比	▲5.0)
製造業	(来期	▲60.0	今期比	▲80.0)
非製造業	(来期	14.3	今期比	5.7)
建設業	(来期	0.0	今期比	100.0)
小売業	(来期	▲12.5	今期比	▲12.5)
卸売業	(来期	14.3	今期比	▲14.3)
サービス業	(来期	26.6	今期比	▲0.1)
その他業	(来期	50.0	今期比	50.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

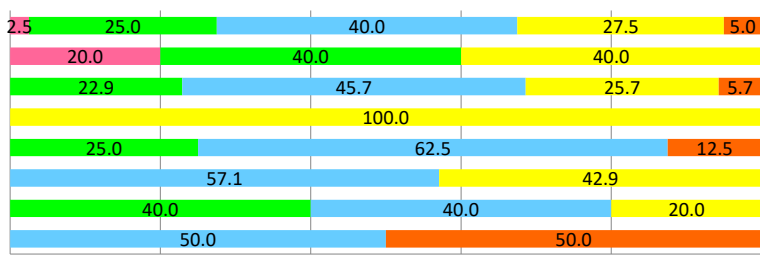
採算DI

今期(2026年1月~6月)のDI値

(採算)

(単位:%)

全業種	(今期	▲5.0	前期比	▲12.0)
製造業	(今期	20.0	前期比	47.3)
非製造業	(今期	▲8.5	前期比	▲27.3)
建設業	(今期	▲100.0	前期比	▲80.0)
小売業	(今期	12.5	前期比	▲43.1)
卸売業	(今期	▲42.9	前期比	▲9.6)
サービス業	(今期	20.0	前期比	▲10.8)
その他業	(今期	▲50.0	前期比	0.0)

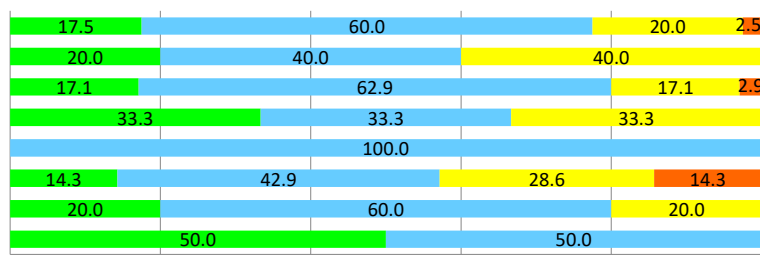


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期(2026年7月~12月)の見通しDI値

全業種	(来期	▲5.0	今期比	0.0)
製造業	(来期	▲20.0	今期比	▲40.0)
非製造業	(来期	▲2.9	今期比	5.6)
建設業	(来期	0.0	今期比	100.0)
小売業	(来期	0.0	今期比	▲12.5)
卸売業	(来期	▲28.6	今期比	14.3)
サービス業	(来期	0.0	今期比	▲20.0)
その他業	(来期	50.0	今期比	100.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

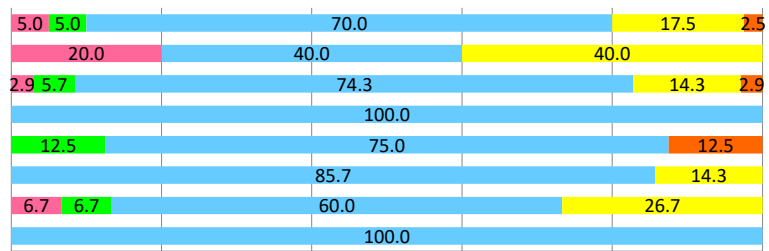
資金繰りDI

今期(2026年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲ 10.0 前期比 ▲ 10.0)
製造業	(今期 ▲ 20.0 前期比 7.3)
非製造業	(今期 ▲ 8.6 前期比 ▲ 17.9)
建設業	(今期 0.0 前期比 20.0)
小売業	(今期 0.0 前期比 0.0)
卸売業	(今期 ▲ 14.3 前期比 ▲ 14.3)
サービス業	(今期 ▲ 13.3 前期比 ▲ 44.1)
その他業	(今期 0.0 前期比 0.0)

(資金繰り)

(単位:%)

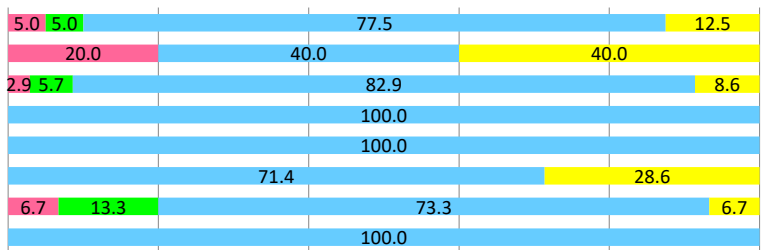


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期(2026年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲ 2.5 今期比 7.5)
製造業	(来期 ▲ 20.0 今期比 0.0)
非製造業	(来期 0.0 今期比 8.6)
建設業	(来期 0.0 今期比 0.0)
小売業	(来期 0.0 今期比 0.0)
卸売業	(来期 ▲ 28.6 今期比 ▲ 14.3)
サービス業	(来期 13.3 今期比 26.6)
その他業	(来期 0.0 今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

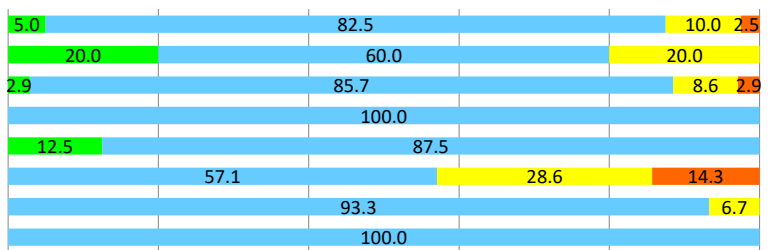
在庫DI

今期(2026年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 7.5 前期比 10.9)
製造業	(今期 0.0 前期比 9.2)
非製造業	(今期 8.6 前期比 8.6)
建設業	(今期 0.0 前期比 33.3)
小売業	(今期 ▲ 12.5 前期比 ▲ 22.5)
卸売業	(今期 42.9 前期比 17.9)
サービス業	(今期 6.7 前期比 ▲ 2.4)
その他業	(今期 0.0 前期比 0.0)

(在庫)

(単位:%)

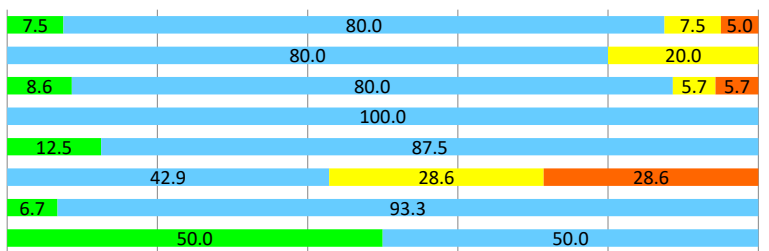


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2026年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 5.0 今期比 ▲ 2.5)
製造業	(来期 20.0 今期比 20.0)
非製造業	(来期 2.8 今期比 ▲ 5.8)
建設業	(来期 0.0 今期比 0.0)
小売業	(来期 ▲ 12.5 今期比 0.0)
卸売業	(来期 57.2 今期比 14.3)
サービス業	(来期 ▲ 6.7 今期比 ▲ 13.4)
その他業	(来期 ▲ 50.0 今期比 ▲ 50.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

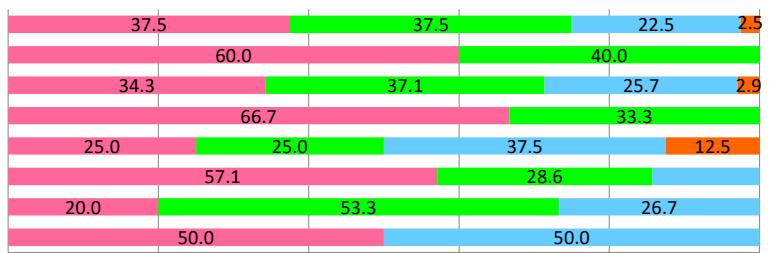
仕入単価DI

今期(2026年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲72.5	前期比 ▲0.3)
製造業	(今期 ▲100.0	前期比 ▲9.1)
非製造業	(今期 ▲68.5	前期比 ▲2.8)
建設業	(今期 ▲100.0	前期比 ▲40.0)
小売業	(今期 ▲37.5	前期比 29.1)
卸売業	(今期 ▲85.7	前期比 14.3)
サービス業	(今期 ▲73.3	前期比 ▲11.7)
その他業	(今期 ▲50.0	前期比 0.0)

(仕入単価)

(単位:%)

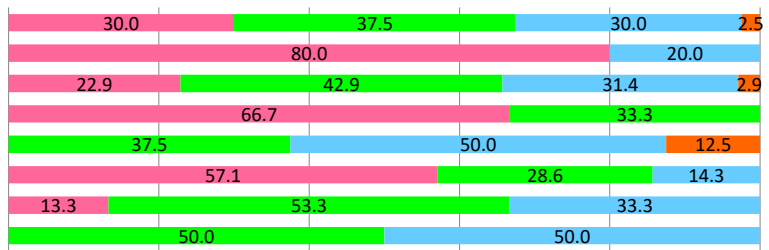


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(2026年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲65.0	今期比 7.5)
製造業	(来期 ▲80.0	今期比 20.0)
非製造業	(来期 ▲62.9	今期比 5.6)
建設業	(来期 ▲100.0	今期比 0.0)
小売業	(来期 ▲25.0	今期比 12.5)
卸売業	(来期 ▲85.7	今期比 0.0)
サービス業	(来期 ▲66.6	今期比 6.7)
その他業	(来期 ▲50.0	今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

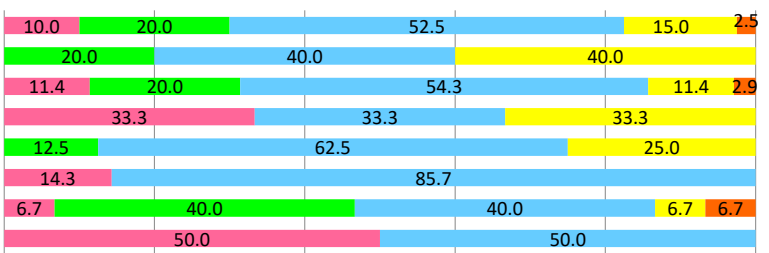
従業員数DI

今期(2026年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 12.5	前期比 19.5)
製造業	(今期 ▲20.0	前期比 ▲10.9)
非製造業	(今期 17.1	前期比 23.4)
建設業	(今期 0.0	前期比 40.0)
小売業	(今期 ▲12.5	前期比 ▲1.4)
卸売業	(今期 14.3	前期比 14.3)
サービス業	(今期 33.3	前期比 25.6)
その他業	(今期 50.0	前期比 50.0)

従業員数

(単位:%)

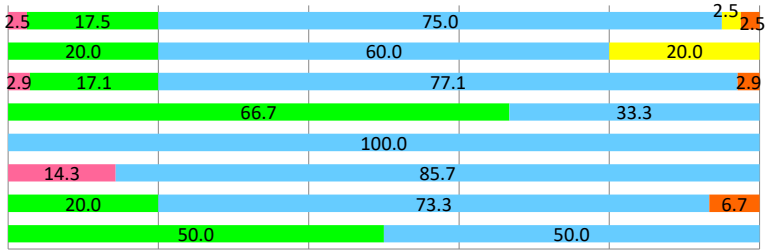


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2026年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 15.0	今期比 2.5)
製造業	(来期 0.0	今期比 20.0)
非製造業	(来期 17.1	今期比 0.0)
建設業	(来期 66.7	今期比 66.7)
小売業	(来期 0.0	今期比 12.5)
卸売業	(来期 14.3	今期比 0.0)
サービス業	(来期 13.3	今期比 ▲20.0)
その他業	(来期 50.0	今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

設備DI

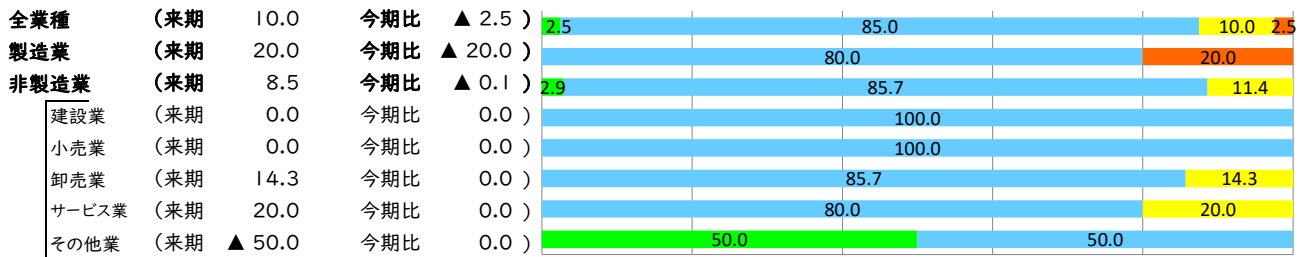
今期(2026年1月~6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2026年7月~12月)の見通しDI値

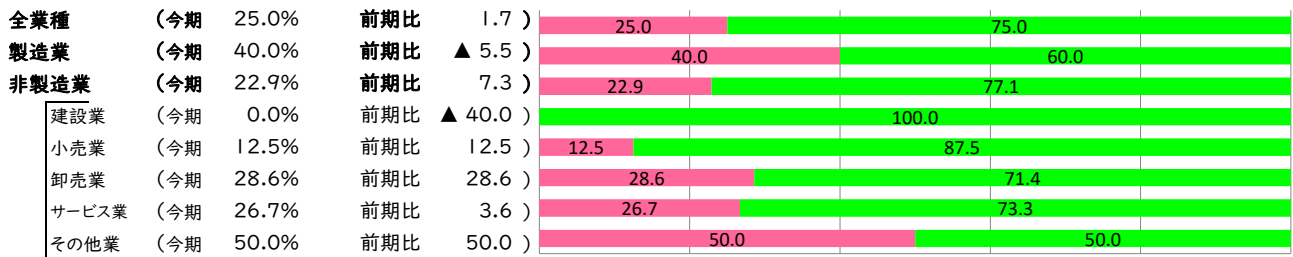


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

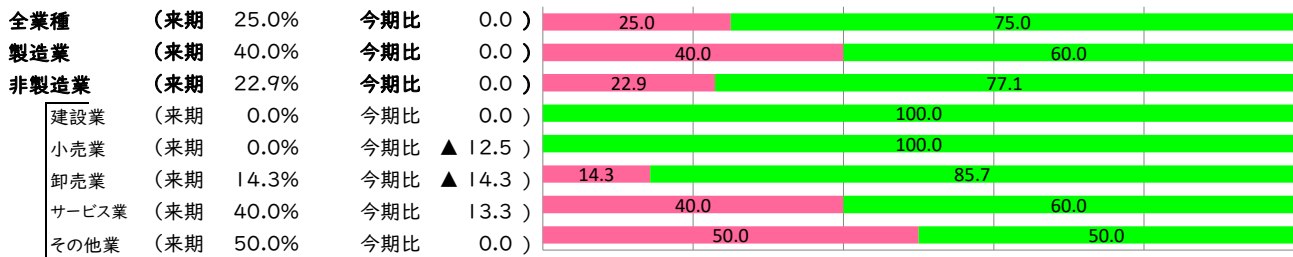
◆今期(2026年1月~6月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

◆来期(2026年7月~12月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

直面している課題

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	8.6%	0.0%	12.5%	0.0%	13.3%	0.0%
需要の停滞	③ 20.0%	20.0%	② 33.3%	③ 25.0%	② 28.6%	6.7%	① 50.0%
為替差損	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	0.0%	2.9%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
新規参入業者の増加	0.0%	2.9%	② 33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
製品（消費者・利用者等）ニーズの変化への対応	③ 20.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	① 50.0%
生産設備の不足・老朽化	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%
原材料の不足	③ 20.0%	5.7%	② 33.3%	0.0%	③ 14.3%	0.0%	0.0%
仕入（原材料）単価の上昇	① 80.0%	① 37.1%	① 66.7%	① 62.5%	③ 14.3%	③ 26.7%	① 50.0%
下請負単価の上昇	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
官公需要の停滞	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	① 50.0%
金利負担の増加	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	③ 14.3%	6.7%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	2.9%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	0.0%	11.4%	0.0%	0.0%	② 28.6%	13.3%	0.0%
人件費の増加（最低賃金の上昇）	② 40.0%	③ 22.9%	0.0%	12.5%	0.0%	② 40.0%	① 50.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売掛金回収の悪化	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
店舗・施設の老朽化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
従業員・熟練技術者の確保難	② 40.0%	② 34.3%	① 66.7%	② 37.5%	0.0%	① 46.7%	0.0%
燃料費（電気料金を含む）の高騰	③ 20.0%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	① 50.0%
ウクライナ情勢の影響	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	② 28.6%	0.0%	0.0%
米国関税措置に関する影響	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中東情勢の影響	0.0%	11.4%	0.0%	12.5%	① 42.9%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%